

平成30年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

民事法学・公法学専攻（英語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1. 以下の英文を、日本語で10行程度に要約しなさい。
2. 下線部の英文を和訳しなさい。

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

民事法学・公法学専攻（ドイツ語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

下記の文章は、*Martin Heger, Gleichheit und materielles Strafrecht*, in: *Zeitschrift für Internationale Strafrechtsdogmatik (ZIS)* 2011, S. 402 ff. の一節である。この文章が何について論述されたものであるかを全体的に把握・理解した上で、和訳しなさい。

平成30年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

民事法学・公法学専攻（フランス語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の仏文を日本語に訳しなさい。

（出典 L.Vogel, Recodification civile et renouvellement des sources internes, Le Code Civil 1804-2004, Livre du Bicentenaire, Dalloz-Juris-Classeur, 2004, pp 159-160.）

答案用紙別紙

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題 (後期博士課程)

政治学専攻 (英 語)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

以下の問 1、問 2 の両方の問題に解答しなさい。

問 1 次の文章を、冒頭から順次日本語に訳しなさい。

出典: Michael G. Roskin, Robert L. Cord, James A. Medeiros, and Walter S. Jones, *Political Science: An Introduction*, 3rd ed. Englewood Cliffs: Prentice Hall, 1988, p.280.

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題 (後期博士課程)

政治学専攻 (英語)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

問2 以下の英文を日本語に訳しなさい。

出典：Jonathan Gruber, *Public Finance and Public Policy* (4th ed.), Worth Publishers, 2013,
pp.155-156

答案用紙別紙

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共 通（中国語）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

以下の I、II を日本語に訳しなさい。

I

（郭萍「儒家的自由观念及其人性论基础：与西方自由主义的比较」中国战略分析 <http://zhanlve.org/?p=3868>）

II

（「總統獨裁制呢？責任內閣制呢？」『新華日報』社論、1946 年 5 月 19 日）

答案用紙別紙

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共 通（朝鮮語）

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

次の文章を日本語に翻訳しなさい。

出典：韓■大法院 2017 年 7 月 18 日判決（2014 ㄷ 8719）

答案用紙別紙

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共 通（日本語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

「喧嘩（けんか）両成敗」とは、暴力を伴う私的な争い（喧嘩）が発生した場合には善悪を問わず当事者の双方を等しく処罰するという、中世から近世における日本の法原則である。このことを踏まえて以下の文章を読み、設問に答えなさい。

1. 下線部①「勝ち負け」「思考」「下線部②」「痛み分け」「思考」に基づき損害賠償制度はそれぞれどのようなものになるか、両者の差を明らかにしつつ5行程度で説明しなさい。
2. 下線部③「私たちの伝統的な損害様式」とはどのようなものか、また著者はそれに対してどのような評価を下しているかについて、10～20行で説明しなさい。

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共 通（史料読解）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

設問 以下の史料を読み、時代背景を十分に踏まえて、その内容を説明しなさい。

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題（後期博士課程）

共 通（統計学）

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

1. 1回の試行で成功する確率が p である試行を N 回行い、成功した回数を X とする。ただし、各回の試行は独立である。

(1) $X=k$ である確率を求めよ ($k=0,1,2,\dots,N$)。

(2) X の期待値と分散を求めよ（導出過程も記すこと）。

(3) 900 回の試行を行ったところ、成功は 103 回であった。 $p=0.1$ という仮説が棄却できるかどうか検討しなさい。ただし、 N は十分に大きいので、 X/N は正規分布で近似できるとする。また、 Z を標準正規分布に従う確率変数とすると、 $\Pr(Z \leq z) = 0.975$ を満たす z は $z=1.96$ である。

(1)10 点, (2)と(3)は各 20 点

2. 労働者の容姿と所得の関係について、別紙の表 1 のような回帰分析を行った。容姿は 1 から 5 までの 5 段階で評価されたが (5 が最高)、回帰分析においては平均より上 (4 以上) なら $abvavg=1$, 平均より下 (評価が 2 以下) なら $belavg=1$ となるダミー変数を用いた。被説明変数は賃金の対数値で、容姿ダミー以外の説明変数としては、教育年数、経験年数、女性ダミー、黒人ダミー等を用いた（詳細は別紙を参照せよ）。

(1) 回帰分析の係数を解釈せよ（ただし, $exper$, $expersq$ は除く）。

(2) $avbavg$ の係数の 95%信頼区間を求めよ。ただし、自由度 1249 の t 分布に従う確率変数の 97.5%点は 1.962 である。有効数字 3 桁で答えよ。

(3) 他の説明変数が一定値をとるとして、経験年数($exper$)が 10 年から 1 年増加すると賃金はどのくらい高まるか。経験年数は 2 次の項も含まれていることに注意せよ。有効数字 3 桁で答えよ。

(4) $belavg$ と $abvavg$ の両方の係数が共に 0 であるという仮説を検定するため、これらの変数を説明変数から除外して回帰分析（制約付きの回帰）を行った ($belavg$ と $abvavg$ 以外の変数は全て含めてある)。別紙の表 2 には制約なしの回帰 (表 1 の回帰) の残差平方和と制約付きの回帰の残差平方和が報告されている。これらの結果から、 $belavg$ と $abvavg$ の両方の係数が共に 0 であるという仮説を検定せよ。ただし、自由度 (2, 1249) の F 分布に従う確率変数の 95%点は 3.003 である。

(1)から(3)は各 10 点, (4)は 20 点

平成 30 年度 法学研究科入学試験問題 (後期博士課程)

共 通 (統計学)

(別紙)

表 1 回帰分析の結果

	Estimate	Std. Error	t value	Pr(> t)
Intercept	3.996e-01	9.763e-02	4.093	4.54e-05 ***
belavg	-1.474e-01	4.206e-02	-3.505	0.000473 ***
abvavg	-6.948e-03	3.041e-02	-0.228	0.819330
educ	7.398e-02	5.601e-03	13.209	< 2e-16 ***
exper	4.143e-02	4.479e-03	9.249	< 2e-16 ***
expersq	-6.327e-04	9.933e-05	-6.370	2.65e-10 ***
goodhlth	7.210e-02	5.427e-02	1.329	0.184242
female	-3.993e-01	3.147e-02	-12.688	< 2e-16 ***
black	-3.886e-02	5.228e-02	-0.743	0.457411
married	2.091e-02	3.165e-02	0.661	0.508873
service	-1.632e-01	3.280e-02	-4.976	7.40e-07 ***

Residual standard error: 0.4724 on 1249 degrees of freedom

Multiple R-squared: 0.3735, Adjusted R-squared: 0.3685

F-statistic: 74.47 on 10 and 1249 DF, p-value: < 2.2e-16

オブザベーション数: 1260

被説明変数 lwage: 賃金の対数値

説明変数 belavg: 容姿が平均より下, abvavg: 容姿が平均より上, educ: 教育年数, exper: 仕事の経験年数, expersq: exper の平方; ダミー変数: goodhlth: 健康状態が良ければ 1, female: 女性なら 1, black: 黒人なら 1, married: 結婚していれば 1, service: サービス業なら 1

注) 表中の e-02 は 10 のマイナス 2 乗という意味 (7.398e-02 は 0.07398 という意味)。データの出所: Wooldridge, *Introductory Econometrics*, Thomson South-Western, 2006 の教材用データ

表 2 残差平方和

	残差平方和
制約なし回帰	278.7614
制約付き回帰	281.5891